

たわわ

TAWAWA

地域で生きる障害者を支える会通信

発行 2003年10月28日

38号

「地域で生きる障害者を支える会」会報

住所：横浜市港北区下田町6-31-8

活動ホーム「しもだ」内

TEL 045-562-3600

FAX 045-562-5991

入居者にあった福祉機器の検討もふまえ

## 人手を厚くして支援を

まだ辺りは青々と繁って秋の花も美しく咲いていますが、さすがに朝夕は少し冷え込みます。皆さんお元気でお過ごしでしょうか。

秋は地域の中でも、様々なイベントが生まれ活気のある季節ですが、今年は初めてよつばホームのある港北区新吉田地区連合町内会の運動会にお招きいただきました。よつばホームは地元西部町会の皆様と共にたのしみました。入居者の高島勢津子さんがコメントをよせて下さいましたが、ほんとに自然な形で受け入れていただける事が大変に嬉しく、これからも特別気張ることもなく、自然に暮らしていければと思います。



\* \* \*

さて、2館目も同じ町内会で今のよつばホームから歩いて2～3分のところに建設されます。現在基本の設計もほぼ出来上がりました。市街化調整区域のため、ふまなければならない手順が幾つもありましたが、11月下旬か12月の初めには着工される事になります。これからは、設備や細かな検討事項を詰めていきます。

今一番の課題は、重い障害の人達の暮らしをどう支えていくかという視点で、リフター（電動の移動介助のための機械）やそれに取り付けるネット・部品、トイレやお風呂などの手すり等、一人一人の状態に合わせた物を用意する事です。天井走行機器を使うためには、当然の事ですが、建物の中に補強や配線の配慮も要ります。

まず入居予定者について、横浜市リハビリテーションセンターの協力を得て障害の状態を調べ、様々な機種を試してみました。

この結果、当初全館にリフターを導入し、人手のたりない時でも必要な介助をと考えていましたが、トイレなどでは、重い障害の人達に適合する物や部品も見つからず、居室でも装着に非常に手間取ることを考えると、結局計画は浴室に限定される事になりました。（ただ、将来的なことも考えて補強は入れておきます。）

基本的には、人手を厚くして支援をしていこうという事になりました。もともと当たり前の事なのですが、私たちにとっては、やはり重い“確認”でもあります。

これからは、この確認をふまえ、支援計画など様々なソフト面での準備を整えていきます。

## 駅でもさりげなく

渡辺 るり子

夏の暑い日のことです。用事があり東横線の東白楽駅で降りるつもりが、つい乗り越して隣の白楽駅まで行ってしまいました。「しょうがない、次の電車でもどろう」とした時に、電動車イスに乗った女の人が駅員さんと一緒にホームのいちばん端まで移動しているのが目に入りました。

近づいて行くと予想通り、大原友子さんでした。久しぶりに偶然の再会だったので、二人でキャーキャー興奮した後友子さんは文字板を取り出しておしゃべりを始めました。久しぶりということもあり、私が友子さんの指さす文字板がうまく読めなかったのですが、一緒にいた駅員さんがとても慣れた様子で文字板を読みあげてくださいました。はっきりいうとちょっとビックリでした。

電動車イス使用による電車利用（ひとりで）が実現できるまで、交渉やら説得やら本当に多くの努力・行動・頑張りが続けられたことと思います。

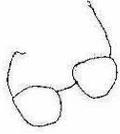
施設や設備を変えて利用ができるようになったことは何より嬉しいことですが、こんなふうな毎日のやりとりを通じて自然に、相手の人が必要な事をさりげなくささえる人が増えていくのはまた嬉しい事だなあと思いました。



## グループホーム 2 館めメンバー紹介

### 山田 宏さん

斜め45度からリズムをとりながら  
静かに、時に鋭く世の中を見つめている  
何ものにも動じない太い眉と硬い関節  
気持ちのよい食べっぷり、豪快な笑い  
しかし、何かが“違う”と察知した瞬間  
今まで秘めていたものが目を覚ます  
グェ～、ヒェー～の声とともに暴走をはじめ  
誰にも止めることはできない  
そして、最近のひそかな喜びは  
帰ってからの数分のうたた寝、幸せだなあ



## めがねのこえ

今度 グループホームに入る 4 人が、リハビリセンターの人やホームの職員、設計者の丸田さんと どんな福祉機器を用意したらよいか調べることになりました。

はじめに 私と K さんが、反町にある福祉機器支援センターで リフターとトイレの手すりなど、どんな物がよいか試してみました。

たくさん時間をかけて 機械のつり具やネットの具合を見ました。

何度もリフトのベルトをつけかえて位置を合せたり、いくつかのネットをかけ変えてみて「これは長すぎる」とか「はばが狭い」とか「おふろの中では、ズレそうだ」とか、ただ移動するだけでなくおふろやトイレやいろいろなことを考えてためしました。

どれが一番安全で K さんも楽かをしらべました。とても たいへんそうに見えました。

私は トイレの手すりの位置や高さなどをしらべました。いつものように、手すりにつかまって下りてみようとするのに出来なくて「どうしたのかな……」とおもいました。手すりが少し低くて、短くきれていたからでした。うちに帰って計ると家のは 5 センチほど高いところについていました。普段あまり考えずにいましたが、「少しの違いがおおきいのだな」ということがわかって 驚きました。

センターには、ベットやいろいろな福祉機器がありました。障害の重い人は、機械を使うのも大変なのだなおもいます。本当は、直接あたたかい人の手で移動してもらったり、介助してもらおうほうが、いちばんいいのだと思います。でも職員やヘルパーさんに、親や家族と同じように長く続けて暮らしをささえてほしいから、介助のときに腰や身体を痛めない方法も考えることが必要なのだと思います。

大原 友子

## 秋祭り ガレージセール

竹生 真喜子

10 月 4 日、爽やかな空の下「秋祭り」が行われました。支える会ではガレージセールに参加しました。衣料品コーナーではファッション 談義に花が咲き雑貨コーナーの品物は、それぞれの使い方一つで生まれ変わる時です。そしてなんと言ってもガレージセールの醍醐味はお客様との掛けあいの楽しさですね。

和やかにガレージセールを終えることが出来ました。ご協力いただいた皆様にあらためてお礼申し上げます。



## 今月のよつばホーム

はじめまして。今年の9月に入りました 金沢 雄希（かなざわ ゆうき）21歳です。  
トリマーの専門学校を卒業後、ブリーダー業（犬の繁殖）を実家の岩手で母親としています。  
母親は仔犬の管理をして、私は主に販売をしている為、神奈川に住んでおります。

以前から人と心から触れ合え、人の役に立つ仕事をしたいと思っていた所、よつばホームの  
求人広告を見つけ、とても惹き付けられました。自分のしたい仕事はこれだったのだという想  
いと共に毎日充実した日々を送っています。未経験の私がこうして働いていられるのも、職場  
の方たちの温かいご指導と、入居者の皆さんの暖かい笑顔のおかげです。

これからも入居者の皆様がより快適に、そして楽しく暮らせるお手伝いを出来るように日々  
努力していきますので宜しくお願いします。

## 入居者の声

### 運動会に参加して

高畠 勢津子

10月12日当日は朝雨がふって新吉田小学校の運動会が1時間  
おくれてはじまりました。私とじろう君は徒競走と新吉田朝市に出て楽しかったです。お年  
よりから子供たちもみんながんばってました。

ご入会・ご継続ありがとうございます。

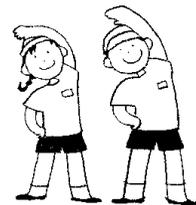
（敬称略）

《賛助会員》

金子 正雄

手塚 和夫

平成15年10月24日現在



## \*\*\*「支える会」総会のお知らせ\*\*\*

下記により「地域で生きる障害者を支える会」15年度第2回総会を行います。  
お忙しいと思いますが、ご都合をつけてご出席ください。

期日： 12月1日(日)10:30～

会場： 活動ホーム「しもだ」

議題： 2館目グループホームについて

補正予算案について その他